

科目名	情報処理実習Ⅰ	英語科目名	Information Processing PracticeⅠ		
開講年度・学期	平成26年度・通年	対象学科・専攻・学年	物質工学科1年		
授業形態	講義・実習	必修 or 選択	必修		
単位数	2単位	単位種類	履修単位（30h）		
担当教員	加島 敬太 高屋 朋彰	居室（もしくは所属）	電気・物質棟3階（加島） 物質工学科実験棟2階（高屋）		
電話	0285-20-2808 0285-20-2810	E-mail	keitakashima@oyama-ct.ac.jp tkouya@oyama-ct.ac.jp		
授業の到達目標		授業到達目標との対応			
		小山高専の 教育方針	学習・教育到達 目標（JABEE）	JABEE 基準	
		1. 情報モラル、倫理を理解し、説明できること。	⑤		
		2. ホームページの作成ができること。	⑤		
		3. BASICプログラミングの基礎を学び、簡単なプログラムを作成できる こと。	⑤		
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法					
到達目標1～3：中間試験、定期試験、発表、および必要に応じて出題した課題について60%以上の成績で達成とする。					
評価方法					
評価は下記2項目の加重平均によって行う。 1. 前期中間試験・前期定期試験・後期中間試験・後期定期試験による点数の算術平均（90%） 2. 提出物や発表内容（10%）					
授業内容					
1. ガイダンス、情報センターの利用法					
2. 情報モラル、倫理について					
3. 電子メールの設定と使用方法（1）					
4. 電子メールの設定と使用方法（2）					
5. ホームページ作成ソフトウェアの使用法（1）					
6. ホームページ作成ソフトウェアの使用法（2）					
7. ホームページ作成ソフトウェアの使用法（3）					
8. 前期中間試験					
9. ホームページの作成（1）					
10. ホームページの作成（2）					
11. ホームページの作成（3）					
12. ホームページの作成（4）					
13. 作成したホームページの発表					
14. 情報処理概論（1）					
15. 情報処理概論（2）					
前期定期試験					
試験の返却、解説					
16. BASIC プログラミング（1） 十進 BASIC 使用方法、入出力文					
17. BASIC プログラミング（2） 十進 BASIC 繰り返し文（1） FOR 文					
18. BASIC プログラミング（3） 十進 BASIC 条件判断文 IF 文					
19. BASIC プログラミング（4） 十進 BASIC 繰り返し文（2） DO 文					
20. BASIC プログラミング（5） 十進 BASIC 配列（1）					
21. BASIC プログラミング（6） 十進 BASIC 配列（2）					
22. BASIC プログラミング（7） 十進 BASIC グラフィックス（1）					
23. BASIC プログラミング（8） 十進 BASIC グラフィックス（2）					
24. 後期中間試験					
25. 試験の返却、解説、Microsoft Excel の使用方法					
26. Microsoft Word の使用方法					
27. Microsoft PowerPoint の使用方法（1）					
28. Microsoft PowerPoint の使用方法（2）					
29. Microsoft PowerPoint の使用方法（3）					
30. Microsoft PowerPoint の発表					
後期定期試験					
試験の返却、解説					
キーワード	電子メール、ホームページ、BASIC プログラミング				
教科書	プリントまたは電子ファイル配布				
参考書					
カリキュラム中の位置づけ					
前年度までの関連科目					
現学年の関連科目					

次年度以降の関連科目		情報処理実習Ⅱ
連絡事項		
ホームページ作成や BASIC プログラミングに使用するソフトウェアはフリーソフトなので、予習・復習可能です。		
シラバス作成年月日	平成 2 6 年 3 月 1 9 日 平成 2 7 年 2 月 3 日修正（授業内容）	

[illegible]

(履-3) 自学自習の記入の必要がない科目：履修・本科学修及び専攻科の実験実習（授業内容部分に罫線なし）

[illegible]

